

男は仕事、女は家事、はもう古い！

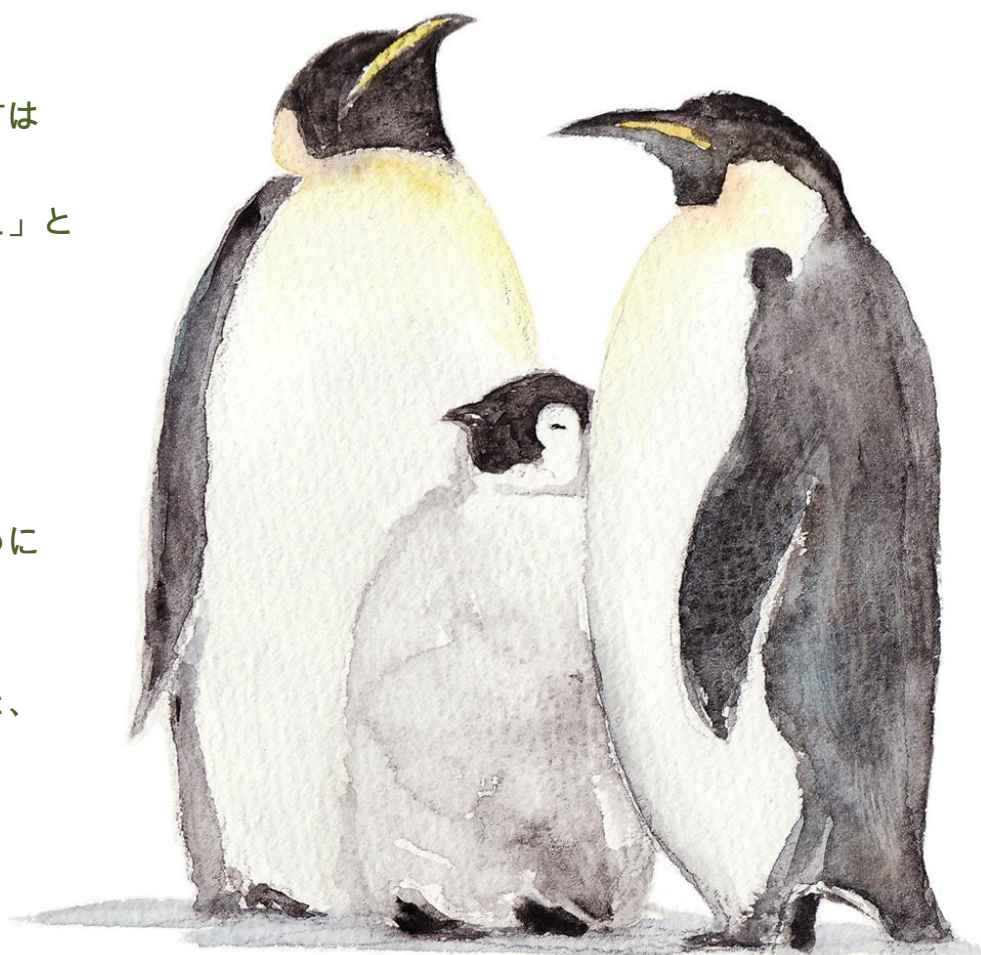
フランスの家族法に学ぶ 女性の輝き方

- 恋愛のゴールは結婚だと思う。
- 結婚したら夫の姓を名乗ることに疑問を感じない。
- 結婚するとき、「嫁に行く」と言った・言われたことがある。
- 専業主婦になりたい・なりたかった。
- なんだかんだ言っても育児は女の仕事だと思う。

ひとつでもチェックが入った方は
是非ご来場ください。
あなたがこれまで「あたりまえ」と
感じていた考え方や生き方が
変わるかもしれません。

専業主婦は守られている？
事実婚は禁止されている？
パートナーと幸せに生きるために
必要なことは？

自らが実践し感じていることを、
フランスと日本の家族法を
比較しながら
わかりやすくお伝えします。



日時：平成27年8月26日(水) 18時30分～20時30分

場所：鳴門市消防本部3階会議室

講師：大島 梨沙(新潟大学大学院実務法学研究科 准教授)

(問)：鳴門市人権推進課 088-684-1095

元気な鳴門の女性の魅力発信推進事業
事業所向け女性活躍推進セミナー（第1回）

セミナー第1回目は、平成27年8月26日（水）鳴門市消防本部3階会議室にて、大島梨沙氏を講師に迎え開催した。「男は仕事、女は家事、はもう古い！ フランスの家族法に学ぶ女性の輝き方」と題し行われた講演には70名の参加があった。

新潟大学大学院実務法学研究科准教授である大島氏は、夫とは入籍しない事実婚を選択し、仕事と育児の両立をされているが、「男は仕事、女は家事との考え方や生き方を否定するつもりは毛頭ない。ただ、夫婦・家族に関する法律や制度は各国において多種多様であることから、日本の家族法ももっと柔軟化・拡大化することにより、人々の選択肢が増えると、もっと豊かな生き方を選択できるのではないかと思う。」と、ご自身のフランス留学時の体験や結婚、家庭生活等を交えてお話しがあった。

また、パートナーで東京大学准教授の藤谷武史氏も同席されていたために、事実婚や家族の在り方の感想もお話しいただいた。

民法、特に家族法を専門とする大島氏から語られる家族の形には、参加者からも多くの質問や感想が出るなど、関心の高さがうかがえるセミナーとなった。

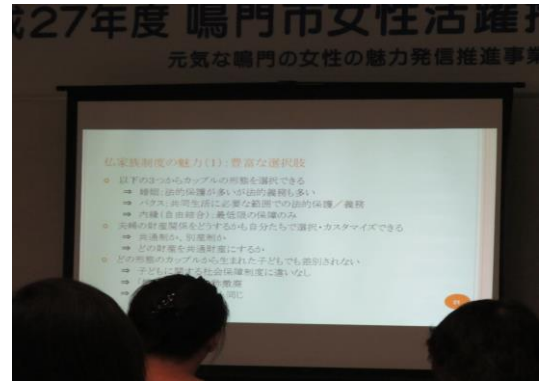
<会場の様子>



<講師の 大島梨沙さんと パートナーの 藤谷武史さん>



<講演>



<質疑応答>

